

米国 エネルギー価格が最終財価格を押し上げ（09年5月生産者物価）

発表日：2009年6月18日（木）

～需給悪化で最終財コアは鈍化基調～

第一生命経済研究所 経済調査部

近江澤 猛(おおみさわ たけし)

03-5221-4526

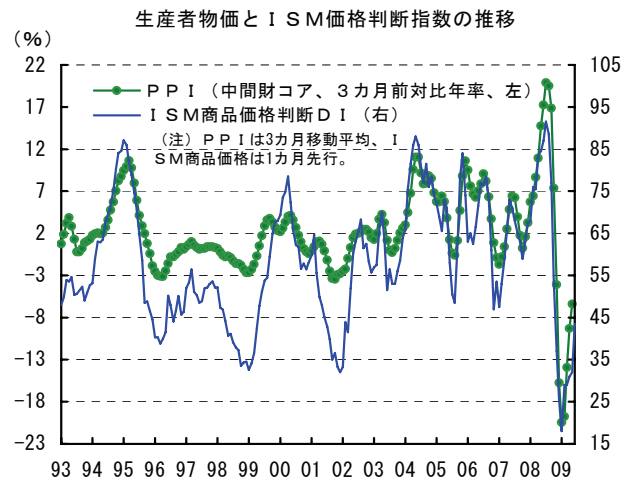
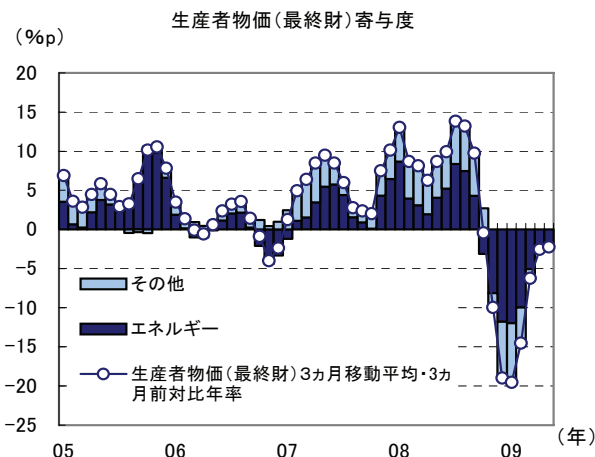
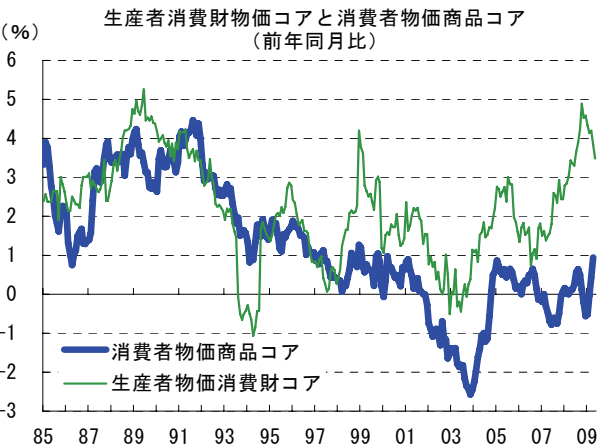
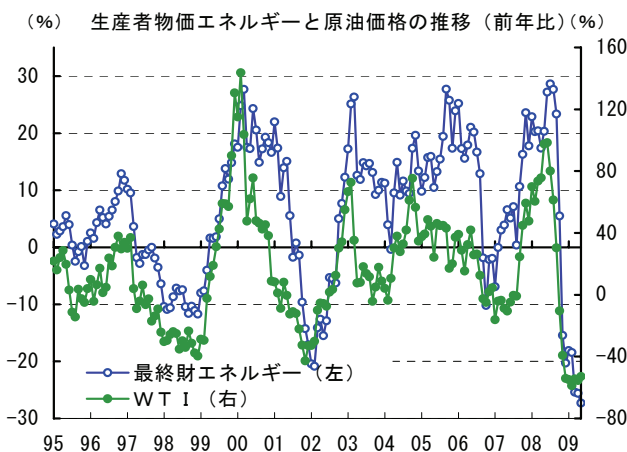
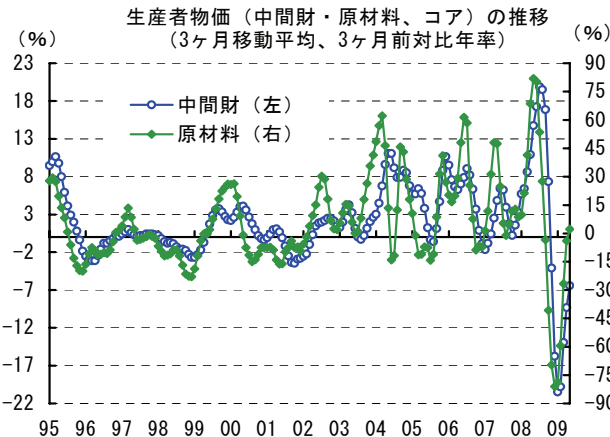
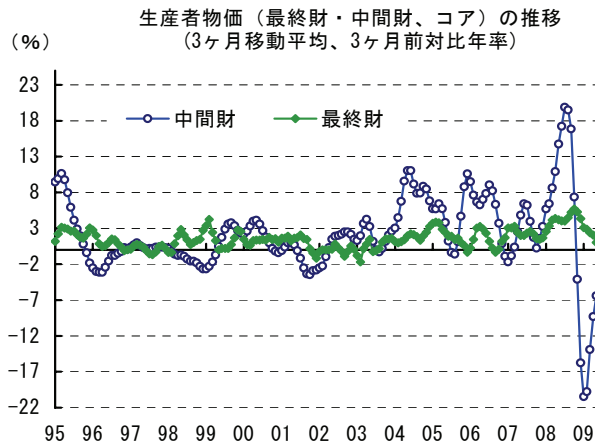
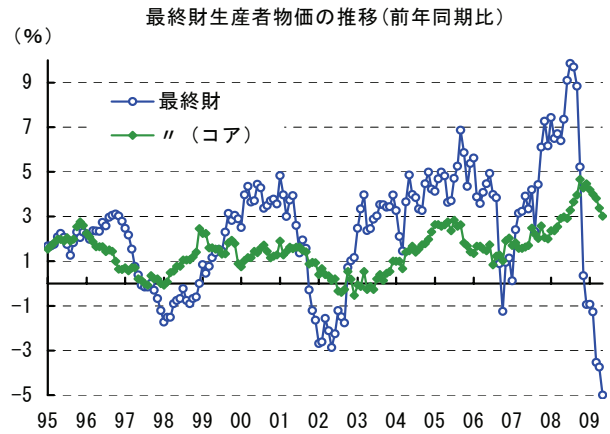
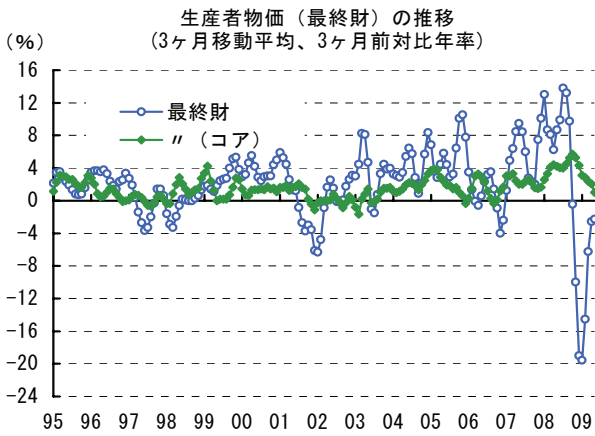
- 5月の生産者物価（最終財）は前月比+0.2%と前月（同+0.3%）から小幅鈍化し、市場予想の同+0.6%を下回った。食品（最終財）が同▲1.6%と低下したものの、エネルギー（最終財）が同+2.9%と前月（同▲0.1%）から大幅に上昇し、全体を押し上げた。3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率で見ると、5月は▲2.2%とエネルギー・資源価格上昇の影響を受け、昨年12月を底にマイナス幅を縮小している。生産者物価コア（変動の大きい食料・エネルギーを除いた生産者物価、最終財）は前月比▲0.1%と06年10月以来の前月比低下となり、内外の需要の鈍化を反映して減速基調にある。
- 最終財を消費財と資本財で見ると、消費財は前月比+0.3%と前月（同+0.4%）から小幅鈍化した。内訳では食品が同▲1.6%（前月同+1.5%）、家庭用電力同▲0.3%（前月同▲0.6%）、家庭用ガス同▲4.7%（前月同▲6.2%）と低下した一方、ガソリンが同+13.9%（前月同+2.6%）、家庭用暖房オイルが同+0.6%（同+3.8%）と上昇が続いている。資本財は前月比▲0.1%と前月（同▲0.1%）に続き前月比マイナスとなり、設備投資意欲の減退を映じて資本財価格は鈍化基調にある。
- 今後、エネルギー・資源価格が世界景気の回復期待から上昇していること、この先、公共投資等の景気対策が実行に移され需給バランスの悪化が緩和することで、09年後半に3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率で最終財価格は上昇に転じ、最終財コアも足元の鈍化基調から緩やかな上昇基調に転じるとみられる。

生産者物価 (Producer Price Indexes)

	最終財		コア		エネルギー		中間財		原材料		WTI
	値	(前年同月比)	値	(前年同月比)	値	(前年同月比)	値	(前年同月比)	値	(前年同月比)	
08/06	+1.3	(+9.1)	+0.2	(+2.9)	+4.3		+2.0		+2.7	+0.5	134.0
08/07	+1.3	(+9.9)	+0.6	(+3.3)	+3.8		+2.8		+3.9	+3.4	133.5
08/08	▲0.5	(+9.7)	+0.5	(+3.7)	▲3.4		▲1.3		▲12.0	▲2.8	116.7
08/09	▲0.1	(+8.8)	+0.4	(+4.0)	▲1.3		▲0.6		▲7.3	▲9.7	103.8
08/10	▲2.6	(+5.2)	+0.5	(+4.7)	▲12.8		▲4.2		▲16.1	▲17.9	76.7
08/11	▲2.7	(+0.4)	+0.0	(+4.3)	▲12.4		▲4.8		▲13.1	▲18.8	57.4
08/12	▲1.8	(▲0.9)	+0.3	(+4.5)	▲9.1		▲4.1		▲5.6	▲1.5	42.0
09/01	+0.9	(▲0.9)	+0.2	(+4.2)	+4.1		▲0.2		▲1.5	+1.3	41.9
09/02	+0.1	(▲1.3)	+0.2	(+4.0)	+1.0		▲0.8		▲6.4	▲0.1	39.3
09/03	▲1.2	(▲3.5)	+0.0	(+3.8)	▲5.5		▲1.5		▲0.3	▲1.6	48.1
09/04	+0.3	(▲3.7)	+0.1	(+3.4)	▲0.1		▲0.5		+3.0	▲0.6	49.9
09/05	+0.2	(▲5.0)	▲0.1	(+3.0)	+2.9		▲0.2		+3.6	+6.7	59.2

(注) 数字は季調済前月比。但し、()内は前年同月比(未季調)。

(出所) 米労働省



(出所)米労働省、全米供給管理協会、Reuter EcoWinより当社作成

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。